

運動の柱 1 伏見の防犯に関心を!

共通の視点

～あなたの防犯への関心が自分を、地域の人々を守ります～

もっと安全で安心できる伏見区をつくるためには、地域に関わる全ての方が防犯を自分のこととして捉え、犯罪を行おうとする者に犯罪の機会を与えないことが重要です。

「車や家を離れるときは、少しの間でも鍵を掛ける」、「自転車・オートバイには、鍵を2個以上かける(ツーロック)」といったことのほか、「詐欺についての知識を持つ」など、一人一人の小さな取組が、犯罪から身を守ることに繋がります。

また、犯罪に対する知識の共有等は、犯罪被害に遭いやすい子ども、女性、高齢者等を守ることに繋がります。

防犯の主役は、あなたです。

取組例

★ ステップ1 ★

① 犯罪に対し、十分な知識を身に付ける

防犯講座や防犯情報をチェックするなど、防犯に関する知識を身に付けましょう。

例えば、振り込め詐欺など特殊詐欺被害に遭わないようにするには、犯罪の手口を知り、心構えを十分にしておけば、いざというときでも、冷静に対処することができるようになります。

犯罪被害に遭わないための知識は、区民のみならず、事業者の方にも役立ちます。

※ 区役所・支所や警察署は、防犯講座の開催やタイムリーな防犯情報の提供を一層推進します。



② 防犯チェックシートを活用する

区役所・支所は、区民の皆様が、自宅や会社等の防犯体制を見直していただくためのチェックシートを作成し、お配りします。チェックシートで防犯に関する新たな気付きがあるかもしれません。

③ 家族や友達等と、防犯の知識を共有する

区民一人一人が防犯の知識を共有することによって、家族や友達等が犯罪被害に遭いにくくすることができます。特に子どもたちには、日頃から犯罪被害に遭わないための話をしていただくと、子どもたち自身の意識が変わります。

更に、子どもたちから防犯に関わる新しい情報を聞くこともあるかもしれません。

※ 今後、学校での防犯講座などを行い、子どもたちが犯罪被害に遭わないための知識の習得や自分の身の安全を守る対処方法を身につけるための安全教育を行っていきます。

④鍵を掛けるなどの自己防衛を行う

自転車に、二重に鍵を掛ける(ツーロック)。

在宅時であっても家に鍵を掛ける、少しでも車を離れる際は鍵を掛けるなどの小さな取組が、自分の財産を守ります。みんなで取り組むことで、犯罪の機会を与えず、地域の皆さんを守ることになります。



★★ ステップ2 ★★

○防犯啓発活動を行う、参加する

青色回転灯パトロールカーによる防犯パトロールや、駅等の交通の拠点、商業施設、観光地周辺等での防犯啓発活動と一緒にやってみませんか？

新しい人との出会いが活動の輪を広げることもあります。

※ 警察署を中心に防犯に関する情報提供等を引き続き行うとともに、防犯パトロール等の防犯啓発活動を推進します。



★★★★ ステップ3 ★★★★★

①防犯設備を導入する

防犯設備を導入し、防犯性能を強化しましょう。

例えば、家屋や店舗の鍵や窓ガラスを頑丈なものにするなど、建物への侵入を防いだり、壊されにくい、盗まれにくい状態にしましょう。

車についても、警報装置、ハンドルを固定する盗難防止装置など、様々な対策があります。



②防犯講座を開催する

警察署等から講師を招き、地域で防犯講座を開催しましょう。

また、防犯講座を受講し、防犯知識をしっかりと身に付けられた方は、自ら講師となり、防犯講座を開催すると、より多くの方に防犯情報を広めることができます。



運動の柱 2 伏見の地域に関心を!

共通の視点

～防犯は声掛けから～

泥棒が犯行を諦めた理由として、「声を掛けられた」「じろじろ見られた」と語った例があります。住民間のコミュニケーションが活発で、見知らぬ人に注意を払う地域コミュニティは犯罪者を遠ざけます。

区民一人一人の地域への無関心が犯罪の温床になります。犯罪者を寄せ付けないためにも、みんなで地域コミュニティの活性化に取り組みましょう。

取組例

★ ステップ1 ★

① 地域の方々と積極的に挨拶をする

普段から積極的に挨拶し、地域の方々と顔見知りになりましょう。

地域でのコミュニケーションが活発であれば、不審者に気付きやすくなります。

② 散歩をする(ながらパトロール)

周りを見ながら歩くことや、挨拶することは、見知らぬ人に注意を払うこととなります。

こういった動きは、自然監視と呼ばれ、間接的な防犯効果があると言われています。

また、小・中学生の登下校時間に合わせて「ながらパトロール」を行うと子どもの見守り活動にもなります。



★★ ステップ2 ★★

① 地域活動を行う, 参加する

防災訓練等の地域活動に参加をすることによって, 地域の中で絆ができます。

地域との絆があれば, お互い困った時に助け合えます。

※ 区役所・支所では, 防犯活動に熱心に取り組まれている地域団体への活動補助を充実します。

② 「こども110番のいえ」の拡充

「こども110番のいえ」は, 住民や事業者の皆様の協力の下, 設置, 運営されている年少者の緊急避難場所です。

こども110番



③ 子ども見守り活動を行う, 参加する

登校や下校を見守る「子ども見守り活動」は, 交通安全の面だけではなく, 防犯の面からも地域に貢献しています。

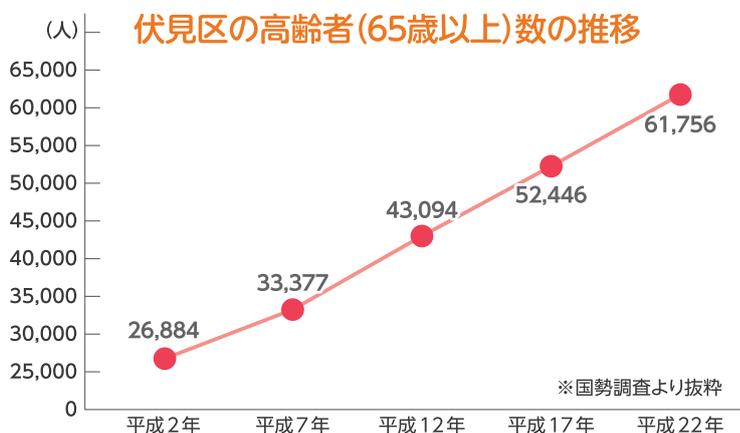
※ 区役所・支所, 警察署では, 子ども見守り活動を今まで以上に支援していきます。



④ 高齢者の見守り活動を行う

現在, 特殊詐欺など高齢者を狙った犯罪が増えています。高齢者の犯罪被害の防止には, 地域ぐるみでの見守り活動が効果的です。

回覧板を直接手渡しする際に世間話をしたり, 郵便受けに新聞がたまっていないか気に掛けるなど, 地域ぐるみで高齢者を見守りましょう。



★★★★ ステップ3 ★★★★★

①地域の防犯を、地域の人みんなで考える

地域の危険な場所を安全な場所に変えませんか？

みんなで、話せば知恵も湧きます！

地域で危険な場所について意見交換を行ったり、防犯カメラの設置を検討するなど、みんなで地域の安全を考えることが地域の防犯につながります。

話し合ったことをニュースとして配布するとより効果的です。



②企業、事業者等による CSR 活動※の推進

防犯に関するCSR活動を行う際には、区民や行政、警察と一体となって行うとより効果的です。

※ CSR活動とは、企業、事業者等の社会貢献活動を指します。

- ・区民と一緒に地域防犯活動を行う
 - ・社用車を活用して青色防犯パトロールを行う
 - ・防犯カメラを設置する
- など

コラム 地域コミュニティの活性化について

京都では、長い歴史の中で培われた住民自治の伝統や支え合いの精神に基づき、自治会、町内会その他の地域住民の組織する団体が中心となり、地域コミュニティが形成され、これらの団体の活動が京都の発展に大きく寄与してきました。

しかしながら、近年、居住形態や生活様式の変化に伴い、自治会、町内会その他の地域住民の組織する団体に加入する住民の割合が低下し、及び地域活動に参加する地域住民が減少したことにより、地域住民相互のつながりが希薄になり、子育てや高齢者の生活の支援、災害時の被害の軽減その他の地域社会において生活するうえで重要な課題を解決するために必要な地域コミュニティの活力が低下することが危惧されています。

このような状況において、東日本大震災が発生し、地域コミュニティの重要性への認識がより深まる中、良好な地域コミュニティを維持し、及び形成していくためには、地域住民相互の交流を促進することにより地域住民が支え合う地域のつながりを強化するとともに、地域住民相互の協力と支え合いの精神に基づく自主的かつ活発な地域活動が行われる必要があります。

京都市では、平成 24 年 4 月 1 日に「京都市地域コミュニティ活性化推進条例」を施行し、地域コミュニティの活性化を推進しています。



運動の柱 3 明るく、見える、伏見に!

共通の視点

～犯罪者は、見られることが大嫌いです～

一部の犯罪は、夜間に多発することが知られています。

また、周囲から見えにくい場所も、犯罪の格好の場所とされています。

両方に共通するのは、視認性(目で見たとときの確認のしやすさ)の確保が難しいということです。

視認性を良くすることは、犯罪防止に大きく役立ちます。

取組例

★ ステップ1 ★

○夜は、門灯を点灯する

音, 光などを犯罪者は恐れます。

地域で門灯を点灯すると、まちが明るくなり、犯罪者を遠ざけます。

※ 京都市においても街灯のLED化を進め、明るくエコな街並みを目指します。みんなで明るい伏見をつくりましょう。



★★ ステップ2 ★★

○自宅や事業所に、センサーライトを設置する

犯罪者は、目立つことを恐れます。自宅や事業所の周囲から見えにくい場所にセンサーライトを設置することにより、侵入されにくくなるだけでなく、その家の住人に防犯意識があると犯罪者に認識させることができます。門灯を点灯するだけの場合と比べて、より防犯効果を高めることができます。



★★★★ ステップ3 ★★★★★

①防犯カメラを設置する

防犯カメラの設置は、犯罪の抑止に効果的です。

地域の方々と協力し、地域で防犯カメラの設置に取り組みましょう。

地域団体や事業者が防犯カメラを設置する際は、京都市の補助制度を利用できる場合がありますので、区役所・支所までご相談ください。



②外部からの視線を遮る物を撤去する

外部からの視線を遮るために、垣根を設置している場合、不審者が家の庭にいることを外部から察知できなくなってしまう恐れがあります。

庭の様子が、外から少し見えるようにしておくと、防犯効果が高まります。



運動の柱 4 伏見を美しく!

共通の視点

～美化が犯罪者を遠ざけます～

アメリカの犯罪学者であるジョージ・ケリングにより提唱された割れ窓理論は、「建物の窓等が壊れているのを放置すると、それが『誰もが当該地域に対し関心を払っていない』というサインとなり、犯罪を起こしやすい環境を作りだす。」というものです。

伏見区においては、犯罪のないまちづくりのために、環境の美化に取り組みます。

取組例

★ ステップ1 ★

①花を植える(花いっぱい運動)

自宅や事業所に花が植わっていると、人の関心が高まる、人の目が増える等により、犯罪件数が減少するとの報告もあります。

是非、軒先等に花を植えて、華やぎのある、犯罪のない伏見を目指しましょう。

※ 行政は、街路樹の整備をするとともに、啓発活動を行い、「花いっぱい運動」を推進します。



②門掃きをする

周りの環境が悪いと犯罪が増加することが良く知られています。

犯罪の防止は、門掃きから!

周りの方と、交流を持つチャンスにもなります。



★★ ステップ2 ★★

○地域の一齐清掃を行う、参加する

区役所・支所では、6月の環境月間に合わせて一齐清掃を行うなどの活動を推進しています。

一齐清掃に参加して、みんなで伏見をきれいにし、犯罪のないまちづくりを進めましょう。



★★★★ ステップ3 ★★★★★

①空き家の活用について、地域で話し合う

空き家が、荒れたまま放置されると、防犯上も、景観上もよくありません。

地域で一緒に空き家について考えましょう。

また、空き家の活用については、補助金を利用できる場合がありますので、区役所・支所にご相談ください。

※ 京都市では、平成26年4月に施行された「京都市空き家の活用、適正管理等に関する条例」に基づき、空き家の活用等を推進しています。



②不法投棄等の監視, 撤去, 通報をする

地域の皆様と行政とで、力を合わせて不法投棄をなくしましょう。

※ 京都市では、地域団体に不法投棄防止用の防犯カメラの貸出を行っています。



③ごみ屋敷の解消に協力する

生活環境が著しく悪化し、周辺地域に悪い影響を与えている家屋等を放置しておくことは、防犯の観点からも望ましいものではありません。地域の皆様と行政とで、力を合わせてごみ屋敷の解消を目指しましょう。

※ 京都市は、平成26年11月に施行された「京都市不良な生活環境を解消するための支援及び措置に関する条例」に基づき、ごみ屋敷等の対策を行うことにより地域の環境の改善を推進しています。

無理のない活動からステップアップしながら、
みんなで防犯活動に取り組みましょう。



防犯活動は、
継続が大事です。

問合せ先

伏見区役所地域力推進室	電話	075-611-1144
	F A X	075-611-0634
深草支所地域力推進室	電話	075-642-3203
	F A X	075-641-0672
醍醐支所地域力推進室	電話	075-571-6135
	F A X	075-571-2673